

工業部会長報告

工業部会・第15回ものづくり技術連携交流会は7月25日(水)ホール80において部会員16名が出席し開催しました。情報提供では、(有)サイカツ建設代表取締役の齊藤勝俊氏より企業概要と製品開発について、関係機関からの情報提供として、秋田県産業技術センター専門員の山川清志氏より秋田県高エネルギー加速器技術研究会の概要について紹介していただきました。

引き続き、参加者による意見交換・懇親会を行いました。



【情報交換の様子】

(1) 情報提供

①(有)サイカツ建設【LED電球開発等】

代表取締役 齊藤 勝俊 氏

企業概要および当社製品開発について下記のとおり講話しました。

- ・昭和42年3月に創業。平成7年に父親より事業を引き継いだ。現在は照明事業と建築事業の二本柱で営業している。
- ・自身が環境問題への意識が高まり、太陽光発電パネルの設置や温度変化を抑える熱交換塗料の塗装を手掛け、施工先の省エネ対策のお手伝いをしながら、LED電球の開発に着手した。
- ・LED電球は熱に弱く自ら発する熱でLED素子が損傷し発光不良を起こすため、省エネ対策としては弱いため「低発熱LEDが無いのなら自分で作ろう」の精神で取り組んだ。商品化までに3年かかり、その間の開発資金は国や県の助成金を活用した。
- ・様々な現場でLED化を促進するため、医療現場や精密な測定機器周辺での利用が可能になる低ノイズLED「スーパーノイズレス」の開発にも着手。秋田県産業技術センターと共同で研究し、平成25年3月に商品化。秋田県立脳血管研究センターで導入され、LED化が難しかった医療現場で活用されている。
- ・現在、「光・音・香による快適空間づくり」に取り組んでいる。今後は、有機EL照明を活用した室内空間環境に重きを置き、色・灯りの組み合わせで空間を上質なものにし、さらに、音や香りの要素を取り入れることで快適でオリジナリティのある空間づくりを展開していきたい。

②秋田県産業技術センター

専門員 山川 清志 氏

秋田県高エネルギー加速器技術研究会の概要を下記のとおり紹介しました。

- ・今年5月18日に、秋田県内企業が高エネルギー加速器産業への参入を図るために関連技術の習得・普及を目指す「秋田県高エネルギー加速器技術研究会」を発足した。
- ・目的として、
 - 1) 国際リニアコライダーや次世代放射光施設に関わる加速器産業参入のための技術力向上
 - 2) 次世代放射光施設の高度利活用による製品開発力の向上
 - 3) 加速器技術の獲得による県内産業の振興
- ・連携による効果的な取り組みをするためには、座学だけではなく、ネットワーク形成を図り、積極的なフェイス&フェイスでの情報交換が必要である。
- ・今年度、先進機関との技術情報の交換や加速器施設の視察を実施する予定。

以上が、工業部会からの報告です。